

和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会 令和4年度総会 議事録

開催日時：令和4年6月16日（木）15:00～17:00

場 所：和泉市コミュニティセンター1階大集会室

出席者：令和4年度和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会会員

- (1) 学識経験者〔特別会員 A〕(50音順、敬称略)
- |                   |  |       |
|-------------------|--|-------|
| 桃山学院大学社会学部 教授     |  | 巖 圭介  |
| 大阪公立大学大学院農学研究科 教授 |  | 藤原 宣夫 |
| 大阪公立大学 名誉教授       |  | 増田 昇  |
- (2) 地元町会・自治会〔特別会員 B〕(50音順、敬称略)
- |  |  |       |
|--|--|-------|
|  |  | 熊田 泰行 |
|  |  | 名倉 克巳 |
- (3) その他 前和泉市信太山丘陵保全・活用検討ワークショップ<sup>®</sup> 会員  
〔特別会員 C〕(50音順、敬称略)
- |  |  |        |
|--|--|--------|
|  |  | 田丸 八郎  |
|  |  | 三輪 健一郎 |
- (4) 〔団体会員〕(50音順、敬称略)
- |                |  |       |
|----------------|--|-------|
| 信太の森FANクラブ代表   |  | 谷口 敏雄 |
| いずみの国の自然館クラブ代表 |  | 梁取 征弘 |
- (5) 〔一般会員、団体会員〕(50音順、敬称略)
- |  |  |        |
|--|--|--------|
|  |  | 稲井 佳奈枝 |
|  |  | 金谷 薫   |
|  |  | 森井 豊   |
|  |  | 渡辺 憲二  |
- (6) 和泉市職員〔市側会員〕(機構順)
- |                          |  |       |
|--------------------------|--|-------|
| 和泉市環境産業部環境保全課 課長         |  | 前田 淳  |
| 同 課長補佐                   |  | 関 憲司  |
| 同 自然環境係長                 |  | 平田 裕樹 |
| 同 自然環境主事                 |  | 香山 幸輝 |
| 和泉市都市デザイン部都市整備室道路河川担当 課長 |  | 武市 直樹 |
| 同 総括主幹                   |  | 八野 豊徳 |
| 同 道路G主事                  |  | 加藤 拓斗 |
| 和泉市生涯学習部文化遺産活用課 課長       |  | 森下 徹  |
| 同 課長補佐                   |  | 千葉 太郎 |
| 同 主事                     |  | 上田 裕人 |
| 和泉市都市デザイン部都市整備室公園緑地担当 課長 |  | 山抱 正嗣 |
- (7) 事務局 和泉市職員 (機構順)
- |                       |           |        |
|-----------------------|-----------|--------|
| 和泉市都市デザイン部都市整備室公園緑地担当 | 総括主幹      | 横田 伸二  |
| 同                     | 整備G総括主査   | 岩田 真知  |
| 同                     | 緑化推進G総括主任 | 増田 朋也  |
| 同                     | 緑化推進G主任   | 野間口 知基 |
| 同                     | 整備G主任     | 村地 裕士  |
| 同                     | 緑化推進G主事   | 藤原 祥平  |

## 次 第

### 1. 開会

#### 1) 会長挨拶

### 2. 議事

#### 1) 報告事項

##### (1) 令和3年度事業報告

- ・ 令和3年度事業総括…………… (資料1)
- ・ 令和3年度事業内容…………… (資料2)

##### (2) 信太山丘陵里山自然公園の実施設計について…………… (資料3)

##### (3) 信太5号線及び公園の整備スケジュールについて…………… (資料4)

#### 2) 協議事項

- (1) 令和4年度事業等計画…………… (資料5、資料6)

### 3. 閉会

上記「2. 議事」の「1) 報告事項」について資料1～4に基づき事務局及び各担当課より、「2) 協議事項」について資料5及び6に基づき事務局より説明を行った。

## 議事内容

### ■報告事項

#### <令和3年度事業報告について>

- 昨年度7月に西側エリアの暫定的な利活用が始まったが、どれくらいの利用が発生しているのか。そのことが、地元の人に、どれくらい知れ渡っているのか。
  - 鶴山台北校区、鶴山台南校区、信太校区の自治会に対して、この春ツツジの散策会を催すタイミングでチラシを配布し、回覧や掲示板を活用させていただくなどして周知した。町会の方には、徐々に浸透していつているのではないかと感じている。また、定量的な調査は実施していないが、先日、午前と午後と1時間程ずつ公園利用者がいるか作業をしながら見ていると、前の道路を通行している人が1時間あたり10人くらいおり、そのうち3人くらいの方が公園の中を通ったりジョギングしたりするという形で利用していただいていた。
- せっかく暫定的な利活用がスタートしたので、広く市民に知れ渡り、利用が始まるということが重要である。
- 先日、市役所の方から散策会の案内をいただき、町内の回覧板での案内と、知り合いに声をかけた。子ども会にも声をかけたが、皆さん忙しくて来られなかったようだった。散策会は、5月のツツジが綺麗な時の開催で、わりと近所の方も来てくださっていた。まだ開園していないが、皆さん興味を持っておられるので、徐々に広げていきたい。
- 本公園は、市にとっても貴重な環境資産であり、早く市民の皆さんに享受していただく必要がある。
- 前回から課題になっている湿地の公開、非公開の方向性については、かなり密に議論をして決めていかないといけないことである。現段階で議論されていることがあればご紹介いただきたい。
  - 主な議論は今年度から進めていきたい。次回の事業・計画ミーティングから議題の一つに挙げ、ご相談をさせていただければと考えている。
- 湿地の公開、非公開については、柵の設置など具体的なハード整備との連動も出てくると思うので、十分な議論を尽くしていただきたい。

#### <信太山丘陵里山自然公園の実施設計、信太5号線及び公園の整備スケジュールについて>

- 工事発注図書として内容が確定しているということだと思うが、私にはこういうことを検討した記憶はあるが、これに決定したという記憶がない。例えば、主園路の舗装断面の実施設計について、あまり記憶に残っていない。このような材質を考えているということは聞いた記憶はあるが、実際に断面がどうなっているかという記憶はあまり残っていない。生き物横断柵の素材と詳細設計についても、はっきりとした記憶がない。どの程度のことが、工事発注図書ではっきり決まっているのか。施設についても、令和3年度末には、はっきりするという話だったと思う。施設の屋根の色や壁の色など、どの程度まで決まっているのか、あるいは全部決定しており、受注先を探しているということなのかお聞きしたい。

○最終的にこういう形で決定をして設計が進んでいるという詳細な報告がなかった、というご指摘であるがいかがか。

→細かいところまでは、お示しできていなかったのではないかと思います。これから全体の図面なりをお示しさせていただきたい。どうしても差し障りがあるということがあれば検討するが、大きな変更はないと考えている。

→舗装については、主園路に関しては自然色舗装、駐車場の部分は黒舗装、駐車桟は碎石舗装としている。

○工事発注図面を、今まで検討いただいていた事業・計画ミーティングの場で、最終的な意見をいただく必要がある。どうしても課題があるのであれば、出来る範囲内で検討を考えるとというご回答であるがいかがか。

○早急に何かの機会に報告していただけるのであればそれでいいが、その際、こうした方がいいのではないかという事を、聞ける範囲内では聞いていただけるのか。今まで建物に関して少々私がこうしないと駄目だと言った事は、聞いていただけなかったのだろうか。こういうことが決まってこれで発注したというのであれば、やはり報告してもらいたい。

→図面に関しては、発注図面をお示しさせていただきたい。

○ここの管理を開園の時にどうするのか、そのことが資料3の留意事項にも載っていないので、それについてのコメントをいただきたい。

→今後の管理手法については、令和4年度の事業・計画ミーティング等で議題にしていきたい。

○道路工事の時に直径40cmくらいの古い鉄管が入口の辺りにたくさん並んでいたことがあったが、それは何のために5号線にあったものなのか教えていただきたい。

→鉄管については、今、道路工事の関係で水道管の工事を行っており、新しい道路に新しい水道管を入れ古い鉄管を撤去していつているので、汚れていた鉄管は古い鉄管を一時的に置かせていただいていたものだと思う。道路工事として鉄管を使うということはない。

○恐らく工事発注図面を見ても理解できない。そうではなくて、素人でもわかるように事業計画ミーティングの場で1度説明していただきたい。

○事業・計画ミーティングの場を借り、臨時か追加で会議を開いて、そこで説明をしていただく機会をご調整いただくことで事務局はよろしいか。

○公園の設計というのは、実施設計に入る前に基本設計というものをしており、実は基本設計で内容はほぼ決まっている。実施設計は工事のための図面で、同じような図面が並んでおり、素人が見ても違いがわからない。先ほど口頭で舗装の説明をされたように、かい摘まんだ説明でご理解いただけると思う。

○実施設計について、照明関係はどうなったのか。それから、このような里山自然公園の安全管理上、放送設備は考慮されているのか。

→照明は、拠点施設の周りに大きな照明を2基、駐車場にフットライトを設ける。園路への照明の設置は計画していない。道路には道路照明がつく。

→放送設備については、現段階では計画に入っていない。

○追加で工事をするなどし、何らかの放送設備が要るのではないかと。携帯電話が機能しているなら、一定の安全は確保できるのだろうが、園としては危険情報や夜間の退去の放送などができる方がいいだろう。一度ご検討いただきたい。

○各サインのコンテンツと表示が課題として残っているということであるが、非常に大事なことなので、事業・計画ミーティングで議論していただきたい。多くの公園では、漫画的になってしまいいリアリティのない看板になっている場合が多く、私はそうではない方がいいと思っている。そして、保全活動や協議会で活動していることが表示されている看板にして欲しい。通常の公園とは違い、この公園ではこういうエリアで皆さんがこういう活動をしている、今日はここでこんな保全活動をしているということが入口でわかるとよい。市民自らが今日の活動場所にマグネットをつけ、来園者にわかるようにすると、市民がこんなことをしていると理解してもらいやすい。そんなことを是非とも検討していただきたい。

○園内の掲示については、これまでも話し合ってきた。初期投資をした後、錆び放題ということにならないようにしよう、皆で作ろうという試みで、ガールスカウトの協力を得て看板を手作りし、そこに最新情報を貼り出していくことをやり始めている。その努力を続けていこうとしているので、温かい目で見たい。

○そのような活動をしていることが、魅力にも環境学習にもなる。非常に大きなアピールポイントである。是非ともそういう形を具現化して、運用していただければと思う。

○資料3の4ページの図面の上に「館の名板」とあるが、どのような名板になるのか。

→施設の名称を入れる予定にしている。どのような名称にするは、これからの検討である。

○施設や西側エリアの草地の名称について、2年程前に名称をどうするかという話があったという話だけは聞いている。建物施設の名称は、公募するのか自分達で決めるのかにしても、簡単に決まらないと思うので急ぐ必要がある。

○ビジターセンターの名前というのは象徴的なのでよろしくお願ひしたい。

○東エリアには、ルート案内サインは出来るのか。

→東側のエリアについても、全体の案内サインを設置する予定である。

○公園に行くと、犬の散歩をさせるな、ドッジボールをするな、スケートボードをするなというべからず集の看板がたくさんある。極力それはやめていただきたい。どうすれば皆が使いこなすことができるのかということ、アピールして欲しい。それから、看板には、この里山自然公園の理念がきちんと掲載されるのだろうか。大事に考えてきた理念が、看板にきちんと書かれているかについても、議論していただければと思う。

→べからず集については、市内の公園でも看板を立てている状況であり、対応に苦慮している。

何か良いご提案などがございましたら教えていただきたい。

○基本的にべからず集というのは、管理者がここに掲載しているから止めなさいという時に使うだけのもので、これがあるから行為を抑制できるかと言えば抑制できない。従って極力止めていっ

た方がよい。看板を作って1年2年もすると劣化し公園に荒廃感が生まれ、どんどん公園が劣化していく。べからず集ではなく、きちんと使いこなせば、不法投棄もなくなりヴァンダリズムもなくなっていくのではないか。窓ガラスが1枚割れたら直ぐに入替え、清潔あるいは正常に保っていることでヴァンダリズムを抑制するというのが、ニューヨークの窓割れ理論である。そういう方向にされてはどうか。維持管理が非常に大事ということである。

## ■協議事項

### <令和4年度の事業計画について>

- 活動拠点の開館が、土曜、日曜、祝日くらいだという話だが、それでよいのか。それは絶対覆らないものなのか。開いている日が週に1日か2日というのは、せっかく作った意味がないと思う。
  - できるだけ多く開館して欲しい。例えば、予算は週2日分しかないけれど受託者がサービスで毎日開けるのは構わないのか。我々ボランティアが入るという手法をとってでも、開館日数を増やすことができないのか。
  - 資料5の3ページに公園管理者が行うことになると書かれている内容は、非常に幅広いことである。通常の公園の管理という事以外の内容も多くあり、それをちゃんとできるのか心配である。
  - 事業・計画ミーティングは、企画運営会議の前に年2回の開催しかなく、その中でいろいろ決定していくことは、なかなか難しい。意見を言って報告を受けてで終わってしまい、結果がどうなったか分からないということになってしまうのではないか。保全活動ミーティングの中でも話しながら、ある程度まとめて事業・計画ミーティングにあげていくという形をとってもらいたい。
  - 例えば、保全活動でされている事を指定管理料の中に入れるのは、かなりしんどいことだろう。前々から言っているように、この公園は、樹林管理や湿地管理を具体的に業務としてするのか、ボランティア活動としてするのか。ボランティア活動としてするのであれば、指定管理者はどのようにボランティア活動をサポートするのか。あるいは、ボランティア活動をこの協議会も含めてどのように充実させていくのか、人材を発掘し充実させボランティア組織を育成させていくのか、そういう事も入った指定管理になってくる。通常の公園の管理運営ではないので、その辺をきっちり令和4年度の中で議論していただきたい。市の予算とも連動することである。市民をパートナーと一緒にやっていけるのか、市が直営するのではなく指定管理者が媒介してそれをやっていくというのが、ここの指定管理業務の大きな課題となってくると思う。この協議会、保全活動ミーティング、保全活動などをどうやって維持していくのかということも含めた業務になる。きっちり今年中に議論をしておいていただきたい。指定管理者が芝生広場を年何回刈ったらいいいということや、ボランティアが刈る箇所を区分していき、どのように人の手を入れて、どう計上して予算と紐づけていくのかということ、是非とも議論していただきたい。
- 仰っていただいたようなことの準備を事務局でしており、今年度のできれば前半に、事業・計画ミーティングあるいは企画運営会議で議論していければと思っている。
- 通常の行政では来年の予算取りはだいたい9月くらいなので、それまでに事例を収集して、どれくらいの単価でどういう業務内容で指定管理をしているのかということ調査し、それを元に事業・計画ミーティングあるいは保全活動ミーティングに諮っていただきたい。そうのんびりできる期間

ではない。そこをきちんとやっておかないと、指定管理者になった途端に、全ての事が頓挫したということになりかねない。指定管理業務では、今まで環境保全課がやっていた自然観察会はどうなのか、環境保全活動が環境保全課と公園緑地担当との関係でどうなっていくのか、といったことを含めて市全体的に議論であると思う。

○暫定的な利活用は、もっと活性化しなければならない。令和3年度にお披露目会を1回されただけで、その後は7月から3月までの間、何もされていない。今年は、試行をどんどんやっていかなければならない。できれば教育委員会に投げかけ、地元の小学校あるいは幼稚園を迎え入れて環境学習のプログラムを半日くらいやってみるなど、積極的に働きかけて行って欲しい。しかし、4月の頭くらいに各小学校が校外学習とか日程を組んでしまうため、今からではなかなか難しいだろう。保育園や幼稚園なら、もう少し融通がきくかもしれない。そのような試行を、具体的に日程と対象を決めてスタートしないと、結局今年も秋に1回しかできませんでしたということになるのではないかと。令和3年度とほぼ同じような令和4年度の事業計画になっているが、令和6年が開園となると、あまりのんびりしてられない。どんどん加速的に公園を使いこなすということをやっていないと前に進んでいかない。

○保全活動は、一般の方の飛び入り参加は可能なのか。飛び入り参加の活性化は、あまりしていないのではないかと。

→毎月の保全活動への一般の方の飛び入り参加は、可能になっている。町会には働きかけをしており、何人か市役所の窓口や電話に問合せがあり、徐々に増えている状況ではある。

○高校や市内企業で、保全活動をやってみたいというところはないか。企業の福利厚生に利用したいというところはないのか。そろそろ、そういうところにも力を入れていかななくてはならない。

→学校関係と企業に対するお試し利用を実施していく準備をしているが、実際のところ話が進んでいる企業がないため、今後力を入れていきたい。

○小学校へは公園協議会でも働きかけようとしている。事務局の方から働きかけていただければと思う。

○現地の看板に、こんな活動をやっていると掲げていただいているが、字が小さく誰も読もうという気にならない。もっと大きな字で、一緒に活動しませんかとか、その際の問合せはどこかを伝える看板にしていきたい。高齢者の方が結構来られるので、大きな字で知らせて欲しい。

→字の大きさについては、工夫して実施していきたい。

○看板があるのなら、次回の活動日はいつだということを書いておくだけでも違うと思う。若い人用には、QRコードがあり、それを読み取れば次回の活動日や公園協議会の入り方がわかるホームページにアクセスできるといいと思う。

→既に現地にQRコードを示し、ホームページの活動日の情報と繋がるようにしている。

○今週の月曜日に、惣ヶ池湿地でマムシを見た。今まで西エリアにいないだろうと思っていたが、先日小さなマムシを見たという声もあった。注意しながら保全活動をしていただきたいと思う。

- 建屋ができ、3月の企画運営会議は、現地で開催できるかもしれない。10月の企画運営会議も、2時間程現地で活動をして、その後に会議をするなど、少しずつリアリティのある形に繋げていくよう検討する必要もあるのではないかと。総会も、午前中2時間草刈りをして、午後から総会をするというようなこともよいのではないかと。
- 建屋のデザインや実施設計については、時間を取っていただいて一定の決着をして工事に入っていくことになる。ハードの整備よりも、むしろ次の保全活動や利用活動にシフトしていかなければと思うので、よろしくお願ひしたい。

以上